

国際事業本部

戦略解説

激化する市場環境に的確に対応し、 高収益体制の確立に取り組む

国際事業本部長 仲野 義邦

土木事業においては、過去5年間で構築してきた安全・施工・原価管理の強化が奏功し、クレーム回収、利益回復による収益の改善を進展させることができました。一方、大型のインフラ案件の受注については課題が残りました。

建築事業においては、利益率の高い大型案件、外資案件の受注により受注高・売上高・売上総利益の目標をすべて達成できました。また、建築事業の売上比率を増加させるために開発・不動産事業本部と協業してきたストックビジネスにおいては、その成果を確実に積み上げることができました。具体的な成果としては、タイ国内での日系企業を対象とした不動産リース業、ラオスでのレンタル工場の運営、ベトナムでの開発案件への参画などがあります。

土木事業を取り巻く今後の課題は、これまで海外事業のコア市場であった香港、マレーシア、シンガポールにおいて、社

会情勢の変化や競合会社の台頭により厳しさが増す入札環境にあります。こうした状況の中、受注を拡大させるには受注案件の多様化や新規市場への進出を加速させる必要があり、東南アジア諸国の再調査と新たに南アジア、豪州などで市場調査に着手しました。

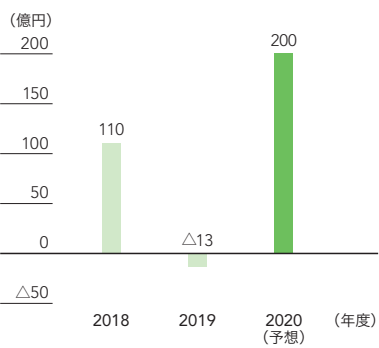
建築事業では、大型案件に注力することで売上高および利益を確保するとともに、現在進行中のストックビジネスを拡大させ、国際事業ポートフォリオの中に占める建築事業の割合増加に努めます。

近年では人財育成として若年層の海外赴任を積極的に行っています。また、昨年は女性土木系総合職が誕生しました。シンガポールでは現地大学からインターンシップを毎年受け入れ、ベトナムではローカル社員の日本における現場研修を通して技術の伝承にも取り組んでいます。

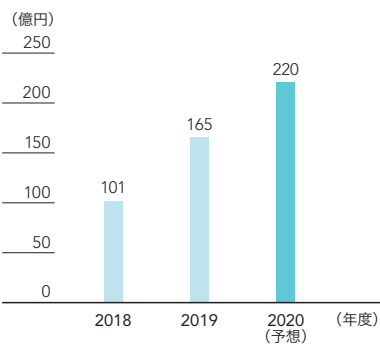
強み

現地の文化・習慣の理解と共感を軸に、企業先および現地パートナーとの信頼関係を確実に積み重ねたことによる安定した事業運営を実現

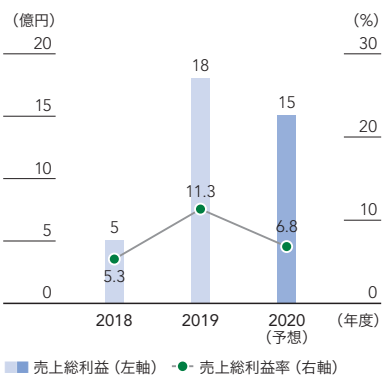
受注高（個別ベース）



売上高（個別ベース）



売上総利益／売上総利益率（個別ベース）



プロジェクト紹介

One Teamで難工事を施工

地下鉄サークルライン第6期 ケッペル駅およびトンネル工事

本工事は、Land Transport Authority (LTA) により発注された地下鉄「サークルライン線」におけるケッペル駅の構築およびトンネル延伸工事です。駅舎構築工事を担当する中国建築（China State Construction）社とトンネル工事を担当する当社とのJV工事となっており、トンネル工事が開通すると、東京の山手線のような環状地下鉄線が完成する予定です。

トンネル全長2,425m、内径φ5.8m、連絡坑2ヶ所。また既存の高速道路橋脚の基礎杭がトンネル掘削時に支障するため、アンダーピニング工法を用いて2ヶ所の基礎杭受替えを行うなど、既設構造物が密接した中でのトンネル工事です。現在までにトンネルの1区間が到達し、次のトンネル掘削にむけて準備をしています。



アンダーピニング施工状況



トンネル初期掘進



駅舎プラットフォーム完成イメージ

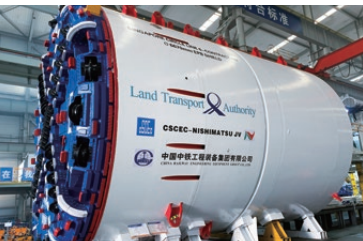


駅舎エントランス完成イメージ

特徴的な取り組み

シンガポールにおける施工実績から、当現場では中国製シールド掘進機（CREG社）を採用しました。日系会社としては、初めての中国製シールド機の採用となります。当現場では、さまざまな国のスタッフが業務にあたっており、コミュニケーションの齟齬が生じないように英語だけでなく、彼らの母国語でも意思疎通を図っています。また、断食や礼拝があるスタッフに配慮するなど、お互いの文化を尊重しています。日本と違い、終身雇用制度が一般的でない海外で、いつまでも「西松建設で仕事をしたい」と思うきっかけとなり、当現場で誇りを

持てる施工実績をつくれるよう、国際事業本部・シンガポール営業所、現場が“One Team”となって施工にあたっています。



シールド掘進機

主な実績



HANWA METAL (THAILAND) 新工場建設工事

発注者：HANWA METAL（親会社 阪和興業）



UNICORN 1 新工場建設工事

発注者：Frasers Property (THAILAND)



第3タンロン工業団地 第2、3期造成・インフラ工事

発注者：タンロン工業団地（ビンフック）社